

# 災害拠点精神科病院の指定について

## 1 災害拠点精神科病院とは・・

災害発生時の精神科医療については、平成23年の東日本大震災や、平成28年の熊本地震で、被災した精神科病院から多数の患者搬送が行われましたが、精神科病院からの患者の受入れや精神症状の安定化等について、既存の「災害拠点病院」のみで対応することは困難であることが課題となった。

こうした経験を踏まえ、令和元年6月に発出された厚生労働省医政局長通知により、災害時に精神科医療を提供する上で中心的な役割を担う「災害拠点精神科病院」を、人口規模や地理的条件、都道府県における精神科医療の提供体制の実態などを考慮し、各都道府県に1箇所以上指定することとされた。

## 2 災害拠点精神科病院に求められる役割

- (1) 24時間緊急対応し、災害発生時に被災地内の精神科医療の必要な患者の受入れ及び搬出を行うこと。
- (2) 被災地からの精神科医療の必要な患者の受入拠点となること。
- (3) 災害派遣精神医療チーム（DPAT※）を保有し、派遣すること。

※ DPAT（Disaster Psychiatric Assistance Team）とは

精神科医療や精神保健活動の支援を行う専門的なチームで、自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件など大規模災害等の際に、被災地域において活動する専門的な研修・訓練を受けた災害派遣精神医療チームのこと。精神科医師、看護師、業務調整員等で構成される。

3

## 3 災害拠点精神科病院の指定要件（1/3）

### （1）運営体制

- ・ 24 時間緊急対応し、災害発生時に被災地内の精神科医療の必要な患者の受入れ及び搬出を行うことが可能な体制を有すること。
- ・ 災害発生時に、被災地からの精神科医療の必要な患者の受入れ拠点にもなること。
- ・ 災害派遣精神科医療チーム（DPAT）を保有し、その派遣体制があること。また、災害発生時に他の精神科医療機関のDPATその他の医療チームの支援を受け入れる際の待機場所や対応の担当者を定めておく等の体制を整えていること。
- ・ 整備された業務継続計画に基づき、被災した状況を想定した研修及び訓練を実施すること。

4

### 3 災害拠点精神科病院の指定要件（2/3）

災害拠点病院と同様の要件

#### （2）施設及び設備（医療関係）

- ・診療機能を有する施設は耐震構造を有することとし、病院機能を維持するために必要な全ての施設が耐震構造を有することが望ましい。
- ・災害時も主な診療施設や病棟等を機能させるのに必要な電力を確保するため、自家発電機等を保有し、3日分程度の燃料を確保しておくこと。
- ・適切な容量の受水槽の保有、停電時にも使用可能な井戸設備の整備、優先的な給水協定の締結等により、災害時の診療に必要な水を確保すること。
- ・衛星電話を保有し、衛星回線インターネットが利用できる環境を整備すること。また、複数の通信手段を保有していることが望ましい。

5

### 3 災害拠点精神科病院の指定要件（3/3）

#### （3）施設及び設備（搬送関係）

- ・被災した精神科病院に入院する精神疾患を有する患者等の広域搬送等のため、一時的に多くの患者を受け入れる場合を想定し、病院敷地内もしくは病院近接地に、患者の一時的避難所を運営するための施設を前もって確保すること。
  - ・D P A T先遣隊等の派遣に必要な緊急車両を有することが望ましい。その車両には、応急用医療資器材、テント、発電機、飲料水、食料、生活用品等の搭載が可能であること。
- また、広域搬送が必要な精神疾患を有する患者のための一時的避難所を運営するに当たり、受け入れ想定患者数に見合った水、食料、医薬品等の備蓄も行うこと。

6

## 4 全国の指定状況について

指定状況（R05.04.01現在）（出典：厚生労働省）



7

## 5 本県の指定状況について

(1) 医療機関名

千葉県総合救急災害医療センター

(2) 所在地

千葉市美浜区豊砂 6 - 1

(3) 指定日

令和 5 年 1 1 月 1 日



8